

製品名: GNB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85122**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 32 kDa

抗原情報

遺伝子名	GNB2
別名	Gnb2; Gnb2l1; RACK1; Transducin beta chain 2
遺伝子 ID	2783.0
SwissProt ID	P62879
免疫原	ヒト GNB2 の合成ペプチド

背景

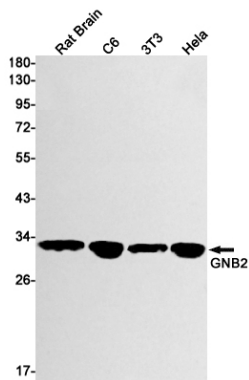
グアニンヌクレオチド結合タンパク質（G タンパク質）は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子または伝達因子として

関与しています。β鎖とγ鎖は、GTPase活性、GDPからGTPへの置換、そしてGタンパク質とエフェクターの相互作用に必須です。

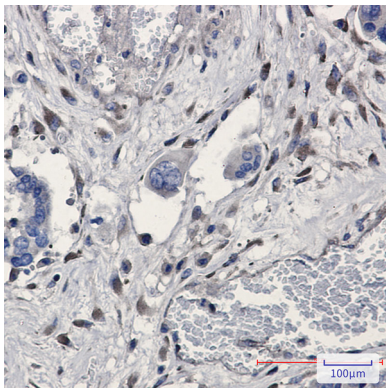
研究分野

PI3K-Aktシグナル伝達経路

画像データ



GNB2抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のGNB2のウエスタンブロット分析。



GNB2抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。